

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-000113

(43)Date of publication of application : 08.01.1993

(51)Int.Cl.

A47B 96/02

(21)Application number : 03-151489

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD

(22)Date of filing : 24.06.1991

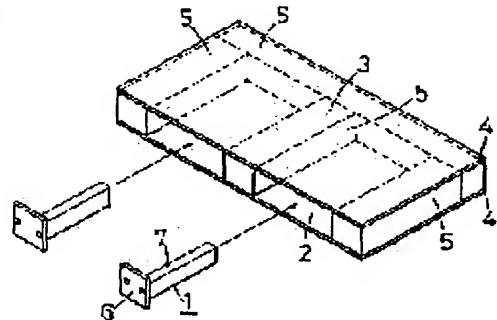
(72)Inventor : FUJII KAZUNORI

## (54) SHELF PLATE

### (57)Abstract:

PURPOSE: To supply a shelf plate at which no shelf receiver 1 can be seen and which is not necessary to fix to the shelf receiver 1 by screws or the like.

CONSTITUTION: A shelf plate is fitted to a shelf receiver 1 attached on a wall face. Flush grooves opened at the rear face 2 thereof are provided and also shelf receivers 1 can be inserted loosely to freely slide between core materials 3, 3. The shelf plate is fitted to the shelf receivers 1 to freely slide laterally to be held.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-113

(43)公開日 平成5年(1993)1月8日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>  
A 4 7 B 96/02

識別記号 庁内整理番号  
B 6578-3K  
E 6578-3K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平3-151489

(22)出願日 平成3年(1991)6月24日

(71)出願人 000005832

松下電工株式会社

大阪府門真市大字門真1048番地

(72)発明者 藤井 和則

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

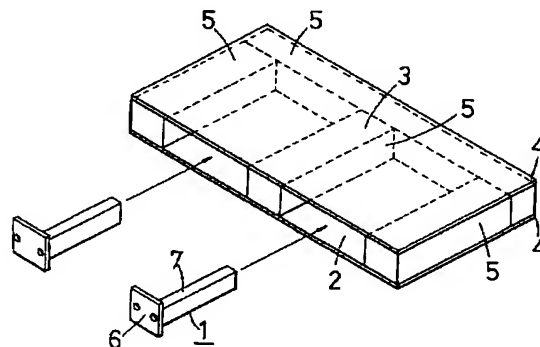
(74)代理人 弁理士 川瀬 幹夫 (外1名)

(54)【発明の名称】 棚 板

(57)【要約】

【目的】 棚受体1が見えることなく、しかも棚受体1にビス等により固定する必要がない棚板を提供する。

【構成】 壁面に設けた棚受体1に取り付ける棚板において、後面2を開口してなるフラッシュ構造からなり、芯材3、3間に棚受体1を摺動自在に遊挿可能にしてなるものであり、横方向に摺動自在に棚受体1に挿着して保持することができるものである。



1

【特許請求の範囲】

【請求項１】 壁面に設けた棚受体１に取り付ける棚板において、後面２を開口してなるフラッシュ構造からなり、芯材３、３間に棚受体１を摺動自在に遊挿可能にしてなる棚板。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【産業上の利用分野】本発明は、壁面に設けた棚受体１に取り付ける棚板に関するものである。

【０００２】

【従来の技術】第３図に示すように、壁面に横方向に複数個並設した略し字状の棚受体１に上載し架設してなる棚板が知られている。この棚板においては、フラッシュ構造、一枚板等からなるものであり、ビス等により棚受体１の上面に固定されるものである。

【０００３】

【発明が解決しようとする課題】上記従来の技術においては、壁面に設けて様々な収納物を載置し、収納することができるものである。

【０００４】しかしながら、この棚板においては、棚受体１を挿入することができる空間がないものであり、壁面に設けた棚受体１に上載し、ビス等により棚受体１に固定してなるものである。

【０００５】このため、この棚板においては、下面側に棚受体１が位置するものであり、下方から棚受体１が見え外観を損なうとともに、下方からの外力による浮き上がり等を防止するために棚受体１へのビス等による固定が不可欠である。

【０００６】そこで本発明は、上記従来の技術における問題を解決するために発明されたものであり、すなわちその課題は、棚受体１が見えることなく、しかも棚受体１にビス等により固定する必要がない棚板を提供することである。

【０００７】

【課題を解決するための手段】本発明の棚板においては、壁面に設けた棚受体１に取り付ける棚板において、後面２を開口してなるフラッシュ構造からなり、芯材３、３間に棚受体１を摺動自在に遊挿可能にしてなるものである。また、フラッシュ構造としては、芯材３の表裏面に化粧板４を設けてなるものである。また、棚受体１としては、壁面にビス等により固定するもの、壁面に横方向に設けたレールに摺動自在に設けるもの等が用いられる。

【０００８】

【作用】本発明の棚板においては、後面２を開口してなるフラッシュ構造からなり、芯材３、３間に棚受体１を摺動自在に遊挿可能にしてなるものであり、横方向に摺動自在に棚受体１に挿着して保持することができるものである。

【０００９】

2

【実施例】以下、本発明を、図面に示した実施例に基づいて詳細に説明する。

【００１０】第１図の棚板は、本発明の一実施例で、壁面に設けた棚受体１に取り付ける棚板において、後面２を開口してなるフラッシュ構造からなり、芯材３、３間に棚受体１を摺動自在に遊挿可能にしてなるものである。棚板としては、角材５を略Ｅ字状に組んで芯材３を形成し、芯材３の表裏面に化粧板４を接着し、後面２を開口してなるものであり、略矩形形状の金属板からなる固定片６の表面側に角柱状の支持棒７を突設し、壁面にビス等により固定してなる棚受体１に水平方向に摺動自在に遊挿して保持することができるものであり、棚受体１を介して壁面に取り付けた後に、水平方向に摺動させて任意の位置で保持し、使用することができるものである。また、支持棒７が下方からも見えず、外観を損なわないものである。

【００１１】なお、本発明の棚板においては、第２図に示す実施例の如きであっても良いものである。すなわち、この実施例の棚板は、壁面に設けた棚受体１に取り付ける棚板において、後面２を開口してなるフラッシュ構造からなり、芯材３、３間に棚受体１を摺動自在に遊挿可能にしてなるものである。棚板としては、角材５を略Ｃ字状に組んで芯材３を形成し、芯材３の表裏面に化粧板４を接着し、後面２を開口してなるものであり、略矩形形状の金属板からなる固定片６の表面側に円柱状の支持棒７を突設し、壁面にビス等により固定してなる棚受体１に水平方向に摺動自在に遊挿して保持することができるものである。

【００１２】

【考案の効果】上述の如く、本発明の棚板においては、後面２を開口してなるフラッシュ構造からなり、芯材３、３間に棚受体１を摺動自在に遊挿可能にしてなるものであり、横方向に摺動自在に棚受体１に挿着して保持することができるため、棚受体１が見えず美しい外観を提供することができるとともに、棚受体１にビス等により固定する必要がなく摺動させて任意の位置に容易かつ短時間で取り付けることができるものである。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明の一実施例である棚板を示す斜視図である。

【図２】本発明の別の実施例である棚板を示す斜視図である。

【図３】本発明の従来例である棚板を示す斜視図である。

【符号の説明】

１ 棚受体

２ 後面

３ 芯材

４ 化粧板

50 ５ 角材

(3)

特開平5-113

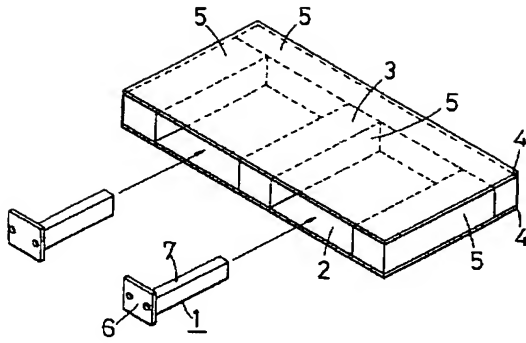
6 固定片

3

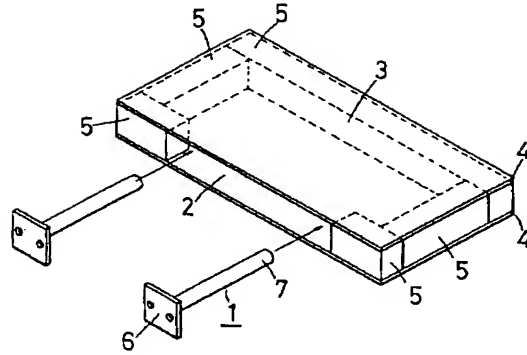
\* \* 7 支持棒

4

【図1】



【図2】



【図3】

